



# ゆくて遥かに

令和2年9月23日(水)

第125号

長野県松本深志高等学校長

## 二学期中間考査(9月16日~18日)

今年は一学期の中間考査が臨時休業の影響で実施できなかったため、今年度二度目の定期考査です。どの教室でもテストに真剣に取り組む姿が見られました。振り返れば、6月1日の県立高校通常再開以降、一人の感染者も出さずに過ごすことができたことは幸いなことだったなと思います。学校生活における「三密回避」とこまめな手洗い・手指消毒等、生徒の自覚と協力のおかげです。

「安全・安心」を第一に考えるという基本的なスタンスは、コロナ発生以来、変わっていませんが、「安全」の基準は少しずつ変わり、当初の感染確認以来、様々な経験知も出てきました。「安全」というのはある程度科学的なエビデンスに基づいた客観的な基準であり、「安心」は心の問題なのだと思います。「安心」の意識は、人によって、例えば本人の抱えている病気リスクなどによっても大きく異なります。不安感が100%の人もいれば、0%の人もいます。そのことを充分認識して、自分だけでなく相手のことも思いやりながら、日々の生活を送ってほしいと思います。また、誰もが感染する可能性がある状況は変わりません。もし感染者が出ても、それはその人のせい、注意不足のせいではありません。仕方がないことです。その時はすぐにしかるべき対応をとるのみです。人権感覚、「人として大切に扱う」という意識をしっかりと持って、何か不安がある場合は、気軽に連絡・相談をしてください。



9月15日放課後の自習室……高使用率

## 学校評議員会(9月14日)

学校評議員制度は、地域や学校関係者の方々に、学校の活動について直接ご意見をうかがう機会を持ち、学校運営に参画していただこうと、平成14年4月から、すべての県立高校で実施されています。具体的には、学校運営に関して、○保護者や地域住民の方々の意向を把握し反映すること、○保護者や地域住民の方々の協力を得ること、○学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと、といったところです。「開かれた学校づくり」の一環としてスタートしています。今年新型コロナウイルス感染症の影響で、年度初めに開くべき第1回目の会が持てませんでした。ようやく14日の午後、開催できる運びとなりました。7名(内1名は欠席)の評議員の皆さまに、まず6時限の授業を見ていただき、本校の教育活動について担当から説明をした後、質疑応答と意見交換の時間に。「マスクを着用しての授業は先生も生徒も大変そう」「教室の狭さは気になったが、ICT機器やエアコンが活用されていてよかった」「生徒はみなまじめに授業を受けていて、さすがだと思った」「地域に開かれ、地域とともにある学校であってほしい」等々、貴重な声をいただきました。深志の自治の精神・自由な校風を時代に合わせた形で進化させながら、深志らしく、部活動、生徒会活動などの学校の教育活動全体で、骨太のリーダー育成と進路実現に結び付けていければと思います。



「マスクを着用しての授業は先生も生徒も大変そう」「教室の狭さは気になったが、ICT機器やエアコンが活用されていてよかった」「生徒はみなまじめに授業を受けていて、さすがだと思った」「地域に開かれ、地域とともにある学校であってほしい」等々、貴重な声をいただきました。深志の自治の精神・自由な校風を時代に合わせた形で進化させながら、深志らしく、部活動、生徒会活動などの学校の教育活動全体で、骨太のリーダー育成と進路実現に結び付けていければと思います。

## ビブリオバトル県大会、行われる(9月13日)

「第7回全国高校ビブリオバトル2020」の県大会が、13日、塩尻市の市民交流センター・えん



11日の放課後に行われた校内予選の様子

ぱ一くで開かれました。ビブリオバトルとは、① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる、② 順番に一人5分間で本を紹介する、③ それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う、④ 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い最多票を集めたものを「チャンプ本」とする（ビブリオバトル公式HPより）。本校からは3年の桑島くんが参加し、フランツ・カフカの「変身」を紹介。決勝戦まで進み、優勝こそ逃しましたが、準チャンプ本に輝きました。3年生のチャレンジに拍手を送ります。

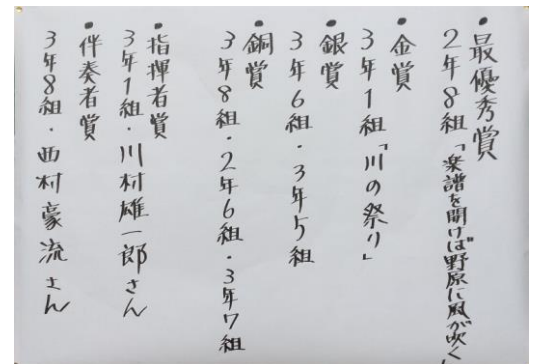
## 1 学年進路講演会（9月10日）

木曜日のLHRを利用して、1年生の進路講演会が行われました。講師は進路指導部長の藤原先生。前半は「第1部大学入試の基礎知識」と題して、今年から始まる大学入学共通テストなどの新しいシステムや大学入試の現状について説明、後半は「進路選択と受験について」ということで、高校生活の集大成としての進路実現について、熱く語ってもらいました。大学全入時代の到来と二極化の進行（難関と呼ばれる大学は難関のまま、入りやすい大学はより入りやすくなる）の中で、どうしても入りたい大学を目指す。そのためには「何のために大学に行くのか」を、とことん考えて志を立てる。進路指導部長として、また深志の先輩として、愛情たっぷりの叱咤激励でした。



## その他の話題をいくつか

★ 合唱コンクールの結果が11日のSHR時に発表になりました。審査基準は技術面（姿勢、音程、曲の難易度、楽譜の忠実性など）と表現面（言葉、曲への理解、感動する演奏など）を、審査員8人がそれぞれ20点満点で採点し、合計得点が高い順に賞を決めています。令和2年度最優秀賞の栄冠に輝いたのは2年8組。3年生をおさえての最優秀賞受賞は立派です。聞けば、昨年の合唱コンクール終了直後から練習を始めたのだとか…。



★ 8日の信濃毎日新聞で1年生の加藤さんの活動が大きく取り上げられました。中学校3年の時にグレタさんの著書を読んで環境問題を意識するようになり、全国の高校生6人で団体を立ち上げて、オンラインで環境問題に取り組む交流を始めたそうです。今回は「地球にやさしい和食」と題して広く募集し、料理の写真やレシピ等をまとめて世界に発信する予定とのこと。卓越の行動力！

## 今週の予定（通常授業、信大連携ゼミ）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
23	水	職員会 初任者研究授業	優秀教員表彰選考委員会
24	木	とんぼ祭記念講演（中止）	校長会用務
25	金	一斉委員会	
26	土	信大連携ゼミ（1年） 主体性オンライン交流会	同窓会定時総会
27	日		
28	月	学年会	